



金融教育、トラブル防ぐ

J Aとうと、多治見西高で講座

陶都信用農業協同組合(J Aとうと、多治見市)と県信用農業協同組合連合会(J A岐阜信連、岐阜市)は、多治見市明和町の多治見西高校で金融教育・消費生活講座を開き、生徒約70

人が消費者トラブルの事例や対処方法を学んだ。高校生の金融リテラシーを高め、消費者トラブルを未然に防ぐのが狙い。金融教育講座では、J Aバンク

支援部の長堂陸さんが人生100年時代をテーマに講演し、労働などの自己投資と投資や株など金融投資の必要性を説明。「SNS(交流サイト)で流れているような楽に短期間でもうかることは絶対にない」と詐欺への注意を促した。消費生活講座では県消費生活相談員を招き、美容やセミナーなどの勧誘に関する契約トラブルについて話した。(橋本遼)

人生100年時代をテーマに話す長堂陸さん(右奥)と多治見市明和町、多治見西高校